

むくのきだより 12月号



令和4年11月30日 港区立赤羽幼稚園 園長 中村 美奈子

幼稚園のよさ ～友達との関わりで学ぶ～

園長 中村 美奈子

「いらっしゃい！いらっしゃい！」赤羽小学校の1年生が、赤羽幼稚園の子供たちを「秋フェスタ」に招待してくれました。各学級、ドングリや身の回りのもので作ったゲームやおもちゃのお店がいくつもあり、楽しい時間はあっという間に過ぎたようでした。



先日、年長ゆり組の子供たちも、遠足の経験を活かして乗り物をつくり、年少さくら組の子供たちを招待しました。「ゆりぐみねこまるゆうえんち」と名付け、そこには「動物行進」「新幹線」「ティーカップ」「レストラン」がありました。ゆり組の子供たちは、どんなものを作るか、どのように作るか、お客さんに楽しんでもらうためにどんな工夫をするか、遊びの中で自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりしながら素敵な遊園地を完成させました。

幼稚園のよさは、人間関係の基礎となる「人と関わる力」を身に付ける場がたくさんあることだと思います。幼稚園では、その年齢や時期に応じて、協同して遊ぶ場を意図的に用意しており、「自分の思いを伝える」・「相手の思いを受け止める」・「互いに折り合いをつける」経験をたくさん積むことができます。うまくいかないことやけんかになることもあります。周りの友達や大人の力も借りながら自分で乗り越えていくことにより、子供は学んでいきます。そのことが、自分や相手のよさを認め合い、高め合う人間関係をつくることにつながるとともに、人権尊重の精神に通じるものとなると考えます。これからも、協同して遊ぶ場を大切に、子供たちを育てていきます。

「誰か」のこと じゃない。



人権週間
12月4日～10日

12月4日～10日は、「人権週間」です。

12月には人権に関する大きな取組があります。それは、「人権デー」と「人権週間」です。私たちは皆、自分の存在と尊厳が守られ、自由に幸せを追い求めることのできる権利「人権」を持っています。しかし、いじめや虐待など、他者の人権を考えないような問題が後を絶ちません。私たちは家庭や地域、職場、学校などで多くの人と関わり合いをもって生きています。その中で、一人一人が自分らしく、他の人たちとともに皆が幸せに生きていくためには、互いの個性を尊重し、認め合うことが必要です。そして、誰もが幸せに暮らせるよう、互いを思いやり、生活習慣・文化・価値観などの多様性や人権を尊重する社会を築いていくことが大切です。

そこで、法務省と全国人権擁護委員連合会が、毎年12月10日の「人権デー」を最終日とする1週間(12月4日から同月10日まで)を「人権週間」と定めています。今年度の「第74回人権週間」では、啓発活動重点目標を「誰かのことじゃない」として、様々な活動が行われます。港区においても、12月8日に記念講演と映画のつどいがあります。

赤羽幼稚園においても、友達の気持ちを考え、互いを認め合える機会を積極的に作り、互いの個性を尊重し、認め合うことができるようにしていきたいと思っております。